

さえずり



会長 根津 江美子
(十日町市立西小学校 教頭)

変えることと変わらないこと

会長 根津江美子
(十日町市立西小学校 教頭)

「変えないことは罪である」尊敬するある方の言葉です。

新潟県リコーダー教育研究会にとって、今年度は「変革の年1年目」としたいと考えています。今まで、創立から40数年たち、諸先輩方が汗を流し、継続し、改良してきたこのリコーダー教育研究会です。しかし、時代の流れ、学校の様子の変化、教職員のおかれる現状、小学校の部活動の変化等々、様々な要因でリコーダーコンテストをはじめとする当研究会の事業について、見直しを迫られる状況になっています。

そこで、皆様の知恵と変革のエネルギーをお借りし、より良い方向を作っていく初年度としたいと思っています。



4月に行われた理事会、5月の総会の中で、次のような問題点が指摘されています。

<会全体として>

会員が減ってきている。新規会員を増やさなければならない。

<コンテスト>

部活動の縮小化で出場校数が減ってきている。これに伴い、コンテストの運営費用、全国大会への出場校数等、様々な弊害が出てきている。

<例会・夏季研修>

参加者が減っている。さらなる工夫が必要である。

コンテストについては、この対応として様々な意見があります。ぜひ、皆様から真剣に考えていただき、夏季講習会の頃に方向を出していければよいと思っています。

以上のように変えていかなければならないことは多々あります。しかし、私たちがいつも大切にしていかなければならないこと、変わらないこともあります。それは、子どもたちにリコーダーの楽しさ・素晴らしさを教え、生涯に渡ってリコーダーを愛し続ける人をたくさんにしていくことです。状況は変わっても変えていかななくてはならなくても、この信念は守り通したいと思います。子どもたちにとって、私たち会員にとって、リコーダー教育研究会にとって大事にしなければならないことを見極め、これからも歩み続けたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



平成29年度 新潟県リコーダー教育研究会 事業計画

- 理事会 4月 2日(日) アトリウム長岡
- 総会 5月14日(日) 長岡リリックホール・スタジオ

上記、総会にて、今年度の事業計画が決定しましたので、お知らせいたします。

例会

各会で講師先生から指導をしていただきます。

※ 敬称略

- ・春の総会 5月14日(日) 講師 小浜 恵子
※研究大会で発表予定の「佐渡」を練習。
- ・夏の例会 7月 1日(土) 講師 北村 正彦
※初級指導に重点。
※夏の案内に秋も掲載し、会員外にも案内。
会員外受講費：1,000円。
- ・秋の例会 9月30日(土) 講師 金子 健治
※曲の仕上げ方をテーマに。
- ・冬の例会 2月10日(土) 講師 本村 睦幸



第44回 夏季リコーダー研修会

◆ 初心者の方も安心してご参加ください。

- ・期日 **8月7日(月)・8日(火)**
- ・会場 南魚沼市民会館
- ・主催 新潟県リコーダー教育研究会
- ・後援 新潟県教育委員会(申請中) 南魚沼市教育委員会
全日本リコーダー教育研究会 東京リコーダー教育研究会
- ・受講料 12,000円(会員は、10,000円) 1日のみは半額。
- ・宿泊 **なし**
※ 希望者には幹旋(六日町温泉「ホテル 坂戸城」) 1泊12,000円
※ 講師を囲む会有り 8/7 18時~20時
- ・講師 金子健治・北村正彦 ※ 敬称略

・申込締切 **7月14日(金) 亀田西小学校 上村弥**

950-0151 新潟市江南区亀田四ツ興野4-1-1

025-382-3041 , F 0250-24-2660 , E-mail/ ya_san@me.com

※ 申込用紙は、県リコ HP に掲載

第43回 新潟県リコーダーコンテスト

- ・期日 12月2日(土)
- ・会場 南魚沼市民会館大ホール
- ・主催 新潟県リコーダー教育研究会
- ・共催 公益財団法人 南魚沼市文化スポーツ振興公社
- ・後援 新潟県教育委員会(申請中) 南魚沼市教育委員会
全日本リコーダー教育研究会 東京リコーダー教育研究会

- ・ 審査員 … 県教育庁義務教育課 石津忠様 他 3 名
- ※ 案内・申込書は県リコHPに掲載
 - ・ **申込締切 9月1日(金)必着 片貝小学校(0258-84-2025) 永井民子**
 - ※ **切後は受け付けません。**

会 報

- ・ 年 3 回発行。各例会時
- ・ **会報はホームページ上で公開。**
- ・ **県リコHP** <http://music.geocities.jp/nrshomepage/>
- ・ **会員他の皆様へ … 投稿記事をお寄せください。mitu3tu@gmail.com** 宛て
日頃のリコーダー指導の悩み、リコーダー指導あれこれ。

その他

- ・ 平成 29 年度 役員一覧は、県リコHPをご覧ください。
- ・ **新会員の勧誘をお願いします。** 会員の皆様、会の活動に期待を寄せてくださる方々のために、会の若返りと**存続**のために、みなさん一人一人が、自らの手で勧誘をお願いします。
- ◆ **新入会員を募集いたします。**「リコーダーが好きです。」「昔リコーダー部にいてまた吹いてみたくなりました。」3回の実技研修会・夏季実技研修会・コンテストと楽しいリコーダーの研修ができます。是非仲間に入ってみませんか。HP から又は、mitu3tu@gmail.com までご連絡ください。



第 38 回 全日本リコーダーコンテスト結果並びに役員会報告

全日本副会長 小池 純夫

平成 29 年 3 月 26 日 (日)、東京・江戸川区総合文化センターで、第 38 回全日本リコーダーコンテストと全日本リコーダー教育研究会役員会が開かれました。結果、内容について報告します。



1 全日本リコーダーコンテスト新潟県関係結果

(1) 小学生の部

<重奏の部>

- ・ 堀之内小 ラズ ジャズ … 銀賞

<五重奏以上の部>

- ・ 北辰小 パスティシュー組曲 … 銀賞

<合奏の部>

- ・ 馬場小 アイリッシュ・エア・アンド・ダンス … 銀賞
- ・ 堀之内小 ニューヨークの印象 … 銀賞
- ・ 貝野小 「くるみ割り人形」より … 銀賞

(2) 中学生の部

<独奏の部>

- ・ 妙高高原中 「4つのバガテル」から … 銀賞

<重奏の部>

- ・ 紫雲寺中 アフリカン デュオ … 銀賞
- ・ 両津中 「ソナタへ長調」より … 銅賞
- ・ 真野中 「バラの香り」より … 銀賞

<合奏の部>

- ・ 両津中 「世界の5つの都市」より … 銅賞
- ・ 紫雲寺中 イントラダ ソング & ダンス … 銀賞
- ・ 南佐渡中 ロートリンゲン地方の愛の歌 … 銅賞

<一般の部>

- ・ 庭野宏樹 リチェルカータ 第4番 … 金賞

2 役員会

(1) 役員の変更案（平成29年10月1日～）についての確認

会 長	牧野 光洋（東 京）	副会長	小山内 仁（北海道） 小池 純夫（新 潟） 親泊 明美（沖 縄）
本部役員	井戸 正利（東 京） 事務局長 武藤 紘子（東 京） 事務局次長		
本部役員	<u>樋熊三津男（新 潟）</u> 上江洲 学（沖 縄） 漆畑 友美（神奈川） 大吉 幸（北海道）	小林 英明（長 野） <u>根津江美子（新 潟）（新）</u> 香山 美穂（兵 庫）（新） 富山 和幸（埼 玉）（新）	

※ 樋熊先生は、会長副会長推薦、根津先生は新潟県代表という立場で。

地区担当役員 嶋見 靖之（新 潟） 新潟担当

顧 問 小原 惇 皆川昌雄 森 嘉男
名誉会員 中村 毅 南雲 照（故人）

(2) 地区大会から全日本に向けての演奏メンバーの変更について

- ・ 今まで、地区大会（高校部門）で、1・2年生で演奏し全日本の出場権を得、その後の全日本のステージではそこに3年生が入り演奏していた例があった。今後はそれは認めず、地区大会のメンバーがそのまま全日本で演奏することを要項に明示し、徹底する。
（但し、たとえば、A君が転校、あるいは入院し、代わりにB君が入るといような場合は認めていく。**特別な理由**の場合）

(3) 著作権について

- ・ 牧野会長は、著作権については**地区大会から指導者の意識を高めきちんと対**

応してもらいたい、という考え。SATBにオクターブ下を重ねることについても**編曲**に当たるので**許諾が必要**。

- ・ しかし、それが、編曲に当たるのかどうかは、議論のあるところではないか？ また、その許諾をとるために、一般の先生が作曲家や出版社と何度も連絡を取るのは大変な負担ではないか？ という意見もある。
- ・ 要項に載せる内容としては原則的にこのまま。

(4) 全日本リコーダー教育研究会 全国大会について

平成29年度 第42回大会 **兵庫県姫路市**
10月14日(土) 姫路キャスパホール

平成30年度 第43回大会 **新潟県佐渡市**



第38回 全日本リコーダーコンテスト 審査講評

【小ホール 太田光子先生】

- ここ数年、**演奏のレベル**が上がって来ている。音色も美しく、指使い・タンギングのテクニックも安定している出場者が多い。
- **選曲**も幅広いジャンル、ルネッサンス・バロック・クラシック・ポピュラー・現代などから厳選している。
- △ 原曲が弦楽器のために作られた曲(**アレンジ作品**)などを演奏するに当たっては、ダイナミックスの表現など、弦楽器の演奏法のまま演奏するのではうまくいかない。原曲のニュアンスを表すには、**リコーダーの特性を踏まえ、リコーダーではどう表現すれば良いのかを解釈**して演奏することによって表現の幅が広がる。
※ フォルテの場合はテヌート、ピアノの場合は軽いスタッカートで演奏する等がそれに当たると思われる。
- △ 演奏中に**体の向き**を変えると客席に届く音は、**音色が変わって聞こえる**。メンバー同士で合図をし合うために真横を向く等がそれに当たるので意図しない演奏(客席への聞こえ方)になる場合があるので注意を。
- △ **リズムに乗って体を動かしながら演奏すると息が途切れて音に表れる**。動いてしまう人は、そうならないか、自分の音を良く聴き、**影響が出ない程度の動き**に。
- ◇ リコーダーを人前で演奏する時は、聴いている人にリコーダーで**素敵なプレゼン**とをする**気持ち**でこれからも演奏して行って欲しい。

【大ホール 吉澤実先生】

- **美しい演奏が大変多かった**。
- ◇ 音楽には**いろいろな要素**があるのでそれを**表すように演奏**することが大切。
踊りならどういう踊りか、踊られるように演奏できているか、歌なら悲しいのか

楽しいのか、情景描写の曲ならどんな様子なのか、それらの**要素を楽譜から読み取って、表現できているかどうか**。1500年代にガナッシが書いたリコーダーの教則本には、画家が絵を描くように、**舌使いや息づかいを心を使って演奏しなさい**と書いている。息は自分の心と書く。和音がつながると和声となり物語が展開していく。その**変わっていく物語を心で感じて表現**していくようにする。

◇ **審査**は、技術的な面と音楽的な面の2点で行っている。

技術的な面…和声・音程・ピッチ・作曲家がどういう意図で書いたものか分析をする等。

音楽的な面…とても**主観的**であり、**感動する演奏だったかどうか**で決めている。

涙が出て来るような演奏、審査コメントを書くのを忘れるくらいの演奏がいくつもあった。**フレーズは何を語るか**を明確にし、そして、**心を込めてどう語るか**を考えて演奏すると感動を生む演奏ができるのだと思います。



リコーダーの息づかい 第5回

～ 息のトレーニング、ファーストステップ ～

リコーダー奏者 太田光子

新潟県リコーダー教育研究会の皆さま、こんにちは。
リコーダー奏者の太田光子です。

さて、本会報 H27-3 号掲載の「リコーダーの息づかい第1回」のイントロダクションで予告しました**息の訓練の具体的な方法について**、今回から数回に分けてお話ししてまいります。

最初にお話ししましたように、私はリコーダーの勉強を専門的に始めた最初の数年間は、音の「ゆれ」をコントロールできず、音程も音色も不安定で情けない終止音になってしまい、なんとも悔しい思いをすることもしばしばありました。

この息の訓練は、私がリコーダーを専門的に勉強し始めた時から20年は毎日行っていたものです。始めて**数年で息がかなり安定**して、やがて**どんなに緊張しているコンサートでも終止音が揺れなくなり、コントロール**できるようになりました。今でも本番直前で息が不安定になりそうだと思う時に、よく行っています。

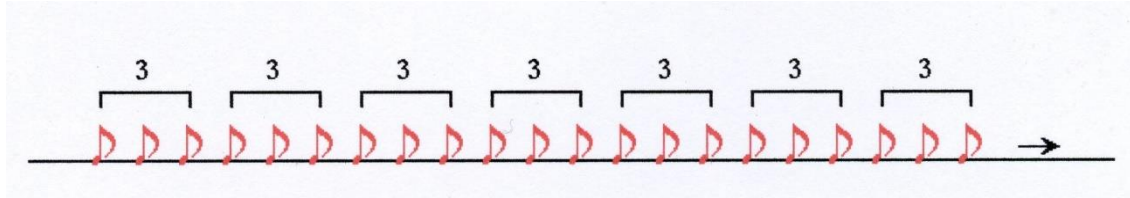


トレーニングの方法を4段階に分けてお話しします。

- A. **息の出し入れ**（息の出し入れをして、**横隔膜**の動きを体感します）。
- B. Aの呼吸を**リコーダーを使って**行う。
- C. Bで行ったものを、**徐々にコントロール**していく。
- D. その**応用**

今回は、最初のAをやってみましょう。

- (1) 歯を閉じ、上の歯茎に舌を近づけ、声は出さずに思い切って強く「スッ！」と言い、直後に息を吸って戻します。「スッ！」は、内緒話での「す」と同じ発音です。そして息を出した瞬間、おなか周りに力が入り、動けばOKです。
- (2) (1)を、「スッスッスッ！」と、**連続して**やってみましょう。この時のポイントは、その都度きちんと**おなか動いているか、しっかり確認**しながら行うことです。けっこう大変でしょう？**楽に言えている状態では、できていません。**
- (3) (2)を**メトロノームに合わせて規則的**に行います。メトロノームの目盛りを60に合わせ、3連符でやってみましょう。



最初のうちは、3連符を保つのもおろか、連続して行うのも一苦労でしょう。60で速ければもっと**遅くてもよいので、規則的に、弱めず、一回一回おなかの動きと息の強さを意識**しながらやってみてください。

15秒で音を上げる人も多いくらい、かなり大変です。続けられなければ途中数秒休みつつ、しっかり**2分間は断続的にでも続けて**みましょう。ただし、やりすぎると後頭部が痛くなることがあります。その場合は必ずお休みしてください。

私のレッスン室でも、最初から連続して2分できる生徒はほとんどいません。みなさん途中で、「スッ！」の力強さがなくなり、おなか動かなくなってしまうたり。「先生、ちょっと待って！」と休憩を申し出てみたり、2分経たないうちに汗だくになったり。でもそれだけ**キツイ**ということは、**きちんとできている証**拠です。この調子で毎日続ければ、必ず2分連続してできるようになりますから、がんばりましょう！

これを**メトロノーム 80**で**2分間連続して**できるようになるまで**練習**してください。

これがある程度できるようになったら、次にいよいよBの、リコーダーを用いての練習に入ります。

次回までにしっかり「スッスッスッ！」と練習しておいてくださいね。

では、また次回お会いしましょう！

<<編集後記>>

今年度も宜しくお願ひいたします。会長の巻頭言にありますように、改革のスタート年です。会員の皆様からいろいろな知恵と力をいただきながら進めていくことが大切かと思ひます。

◆ 投稿・問い合わせ等は、こちらにお願いします。(*^。^*)

mitu3tu@gmail.com / 080-3322-1776 です。

広報主任・副理事長：吉村智宏／ホームページ：児玉禎明

／さえずり編集：樫熊 三津男